



外国籍の人々との共生

星槎大学箱根キャンパス キャンパス長 安野 一生

日本における在留外国人数の国籍 (2024年末時点)

1位 中国 (在留数873,286人) 前年比51,448人

2位 ベトナム (在留数634,361人) 前年比69,335人

3位 韓国 (在留数409,238人) 前年比 -918人

4位 フィリピン (在留数341,518人) 前年比69,472人

5位 ネパール (在留数233,043人) 前年比56,707人

6位 ブラジル 7位 インドネシア 8位 ミャンマー 9位 台湾 10位 アメリカ



SDGsとは？

Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標
のこと

Sustainable
Development
Goals

(読みかたは
エス・ディー・ジーズ)

- ◆2015年の国連サミットで採択され、2030年までの達成をめざす国際社会の共通目標
- ◆環境、社会、経済に関する17の目標、169のターゲット
- ◆「誰一人取り残されない」を理念にする

The Asahi Shimbun
SDGsACTION!

星槎大学箱根キャンパスのSDGsの取組み

1 貧困を
なくそう



2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



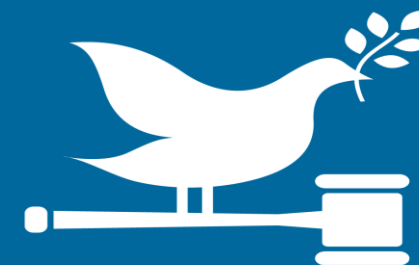
10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



16 平和と公正を
すべての人に



箱根町における外国人住民の増加要因

- 宿泊業を中心とした労働力不足の解消と、それに伴う外国人材の積極的な受け入れ。

箱根町は日本を代表する観光地であり、多くの宿泊施設や観光施設があります。

しかし、近年では観光客の増加に伴い人手不足が深刻な課題となっています。

観光産業は完全に機械化できないため、質の高いサービスを維持するには一定の

人手が必要です。このため外国人材の活用が積極的に推進されており、宿泊業中心に

外国人住人が着実に増加しています。

出身国の変化

2010年以降、箱根町に住む外国人の出身国に変化が見られます。
2010年時点では中国人や韓国人が多数を占めていましたが、
2013年以降は台湾人、2016年以降はネパール人やベトナム人が増加した。
現在はおよそ3割がネパール人で一番多い国籍になっています。

◆仙石原でのネパール人との出会い◆

- サッカーを通じて

- 在留申請

- 言葉の壁

- 教育問題（仙石原幼児学園→仙石原小学校→箱根中学校→？）

- HAKONE INTERNATIONAL COMMUNITY（箱根町社会福祉協議会と協働で設立。8月25日に箱根キャンパスで開催されたTeej(ティージ) Festivalで正式に発表。会長は大学職員ビスタ ニマ ナムギャル

- 地域の活動の場として

- ◎大学職員 ニマさんとシリスティーさんとの出会い

箱根町との連携事業

- 日本語カフェ（箱根町町民課）
毎週月曜日～木曜日 無料 日本語教室
※月曜日(箱根町役場食堂)
火曜日～木曜日（星槎大学箱根キャンパス教室）
- 日本語指導（箱根町教育委員会）
箱根町内小学校（湯本小学校、箱根の森小学校、仙石原小学校）
箱根町内中学校（箱根中学校）

星槎大学箱根キャンパスの役割

☆ 星槎大学本校

☆ 星槎国際高等学校（広域通信制）スクーリング会場
日本全国

☆ 星槎高等学校通信制課程（狭域通信制）
東京・神奈川

ご静聴ありがとうございました

星槎大学箱根キャンパス